

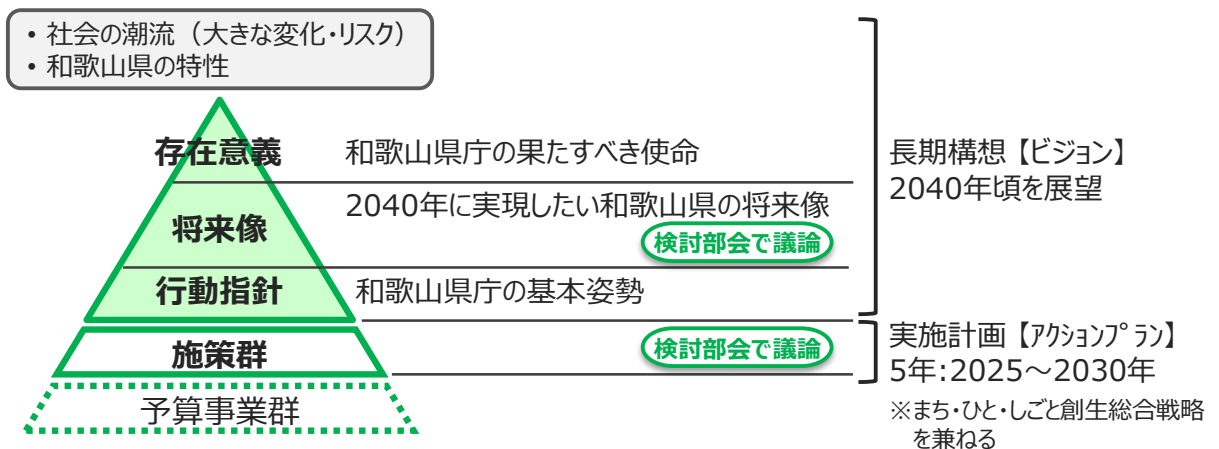
新総合計画の策定方針

1. 計画策定の目的

将来的に直面するこれまでにないインパクトの変化・リスク（2040年問題、仕事や暮らしにおけるデジタル活用の加速化、脱炭素・循環型社会への構造転換等）に真正面から向き合い、県民・市町村・県職員がともに課題意識を共有しつつ、「共感・納得感」を大切にしながら、未来への「気づき・展望」を得られる新しい県政のめざす指針を策定する

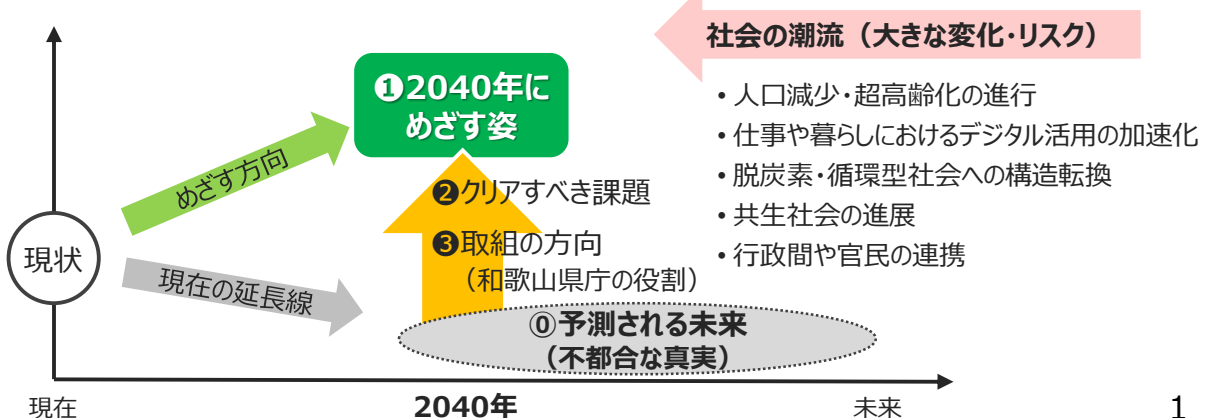
2. 計画の内容

- (1) 新総合計画は、2040年頃を展望した「長期構想【ビジョン】」と、2025年から2030年（5年間）で行う柱となる施策をまとめた「実施計画【アクションプラン】」の二層構造とする
- (2) 長期構想【ビジョン】では、将来像の策定のみならず、計画推進における和歌山県の役割を明らかにするため、和歌山県庁の果たすべき使命（存在意義）と、和歌山県庁の基本姿勢（行動指針）を明確に打ち出した構成とする



- (3) 2040年に実現したい和歌山県の将来像は、大きな変化・リスクを伴う社会の潮流への対応にフォーカスし、現在の延長線上の予測される未来（不都合な真実）を直視した上で、めざす姿、それを実現するためにクリアすべき課題、そのための取組の方向（和歌山県庁の役割）を示す内容とする

〈2040年に実現したい和歌山県の将来像の考え方〉



- (4) 多くの関心・注目を集め、県民・市町村の指針ともなるよう、県施策を網羅した総花的な計画にはせず、メッセージ性を重視する（長文の書き物や細かな目標設定を行わない）

3. 策定プロセス

- (1) 県民の共感・納得感が得られる内容となるよう、計画の策定段階から県民に関わっていただく「県民総参加プログラム」を導入する

取組	対象者等
2040年の和歌山を語る会（熟議）	振興局別の地域住民【9回×30人】
関係団体への意見徴収	分野別の関係団体・グループ
作文募集	県内の小学生・中学生
絵画募集	県内の小学生・中学生
データ利活用コンペティション	全国の高校生・大学生
市町村との意見交換	市町村長・市町村職員
タウンミーティング	市町村別の地域住民【10人程度/回】

- (2) 職員の課題・目的意識の向上とエンゲージメントを高める内容となるよう、検討部会での職員主体の議論に加え、「若手職員座談会」「庁内意見目安箱」を設置するなど、若手職員を含めた様々な世代の職員が、計画策定に広く参加できる環境を整備する

- (3) 専門的な知見や長期展望を踏まえた議論ができるよう、アドバイザー(32人)が就任

4. 策定の期間

2024年4月～2025年9月（県議会2025年9月定例会に議案提出）